

SW KOKUBUN
presents

映画『権力を恐れず真実を —米国下院議員バーバラ・リーの戦い—』 上映と講演で読み解くアメリカ黒人女性史

2025.1.11 sat

バーバラ・リー下院議員 Rep. Barbara Lee

2001年9月11日の同時多発テロ直後、合衆国議会が大統領に対して武力行使を認める決議を行った。500人を超える連邦議員のうち、反対票を投じたのは、下院議員のバーバラ・リーただ一人だった。報復感情一色だった当時のアメリカで、彼女はあえて武力行使の抑制を求め、大統領の権限の際限なき拡大に断固として反対したのだった。

また、バーバラ・リーは合衆国議会でもまだまだ数少ないアフリカ系女性議員の一人である。彼女が掲げる政策課題は多岐に渡り、その政治活動は伝統的な黒人政治の枠組みを大きく超えている。社会正義の実現を求めて闘い続けるリー議員の活動を追ったドキュメンタリー映画を通して、アメリカのみならず日本の政治の現状と課題についても一緒に考えてみましょう。



監督 アビー・ギンズバーグ Abby Ginzberg

米国出身。人種や社会正義をテーマとしたドキュメンタリー作品を30年以上撮り続け、近年では『SOFT VENGEANCE: Albie Sachs and the New South Africa』で2015年にピーボディ賞、当映画祭でも上映された『AND THEN THEY CAME FOR US』(2017)でSilver Gavel賞を受賞。

本作もまた、全米黒人地位向上協会(NAACP)が開催する映画・テレビ・音楽・文学の賞であるNAACPイメージ・アワードを受賞する他、各映画祭、メディアでも非常に高い評価を受けている。

当日の講演

柳澤幾美 Ikumi Yanagisawa

南山大学卒業、愛知学院大学大学院文学研究科博士後期課程を修了(文学博士)後、名古屋外国語大学他で非常勤講師を務める。

専門はアメリカ史、日本人女性移民史。

主な著書・論文に以下がある。

- ・『『写真花嫁』は『夫の奴隷』だったのかー『写真花嫁』たちの語りを中心に』(島田法子編『写真花嫁・戦争花嫁のたどった道ー移民女性史の発掘』明石書店、2009)
- ・『『写真花嫁』移民禁止の経緯ー日米外交の視点から』(2004)
- ・「フォート・リンカン『敵性外国人』収容所と『雪国の刑務所』展ードイツ人と日本人と先住民との時空を超えた出会い」(村井忠政編『トランスナショナル・アイデンティティと多文化共生』明石書店、2007)

岡田 泰弘 Yasuhiro Okada

中部大学人間力創成教育院語学系嘱託講師。

専門はアフリカ系アメリカ人の歴史、アメリカ・ジェンダー史、日米関係史。

上智大学外国語学部英語学科を卒業後、シカゴ大学にて修士号(社会科学)、ミシガン州立大学で博士号(歴史学)を取得。主な著書・論文に以下がある。

- ・“‘Cold War Black Orientalism’: Race, Gender, and African American Representations of Japanese Women during the Early 1950s” (2009)
 - ・“Race, Masculinity, and Military Occupation: African American Soldiers’ Encounters with the Japanese at Camp Gifu, 1947-1951” (2011)
 - ・“African American Women in Japan under U.S. Military Occupation, 1945-1952” (2019)
 - ・「占領下の日本における黒人兵の表象と実態ーアメリカ黒人史の視点から松本清張『黒地の絵』を読むー」(2022)
- ドキュメンタリー映画『権力を恐れず真実をー米国下院議員バーバラ・リーの闘いー』では日本語字幕を監修。

入場無料 (事前申込制)

日時 2025年 1月 11日(土)
13:30 開場 / 14:00 開演 (終了 17:20)

開場 西南コミュニティセンターホール

主催 西南学院大学 国際文化学部

(k-asadac@seinan-gu.ac.jp / 080-3377-7012)



お申し込み



会場 MAP



Seinan Gakuin
国際文化学部